

## ハシボソガラス（カラス科） 全長50センチ

あの頭のいい金谷町のカラスが行方不明になってから1年。

久しぶりに地元の交差点に現れました。クルミを車に轢かせて食べる、頭のいいカラスが大曲にいたのはご存知でしょうか。今では市内のあちらこちらで見られるカラスのクルミ割りですが、その殆どが空中からポンと道路に放り投げるか、電線上から落とすものです。この方法では簡単に割れることは無く、10回以上も繰り返さなければなりません。



置き場所を変えてみようかな。

金谷町交差点に現れた頭のいいカラスは、車を利用してクルミを割ることを考えついたのです。そして、交差点で車は必ず一旦止まることを知っていたのです。空中に上がったたり降りたりするよりも遙に効率よい方法です。



割れたクルミを食べているが、次々と車が通過します。大丈夫でしょうか。



今度は電線の上から落としてみよう。

交差点の中にクルミを置き、車が通り過ぎるのを待ち続けます。

しかし、なかなか割れないと分かったら、クルミの位置を何回も置き換えていました。普通のクラスであつたら、交通量の多い交差点内には近づくこともないでしょう。



車の方で避けて通りました。



赤信号で止まった車の前を、歩いて横切ります。

割れたクルミを食べる場所は、信号が変わると次々と車がスピードを上げて通り過ぎます。

近くを通り過ぎる車には目もくれずに食べ続け、正面から向かってくる車が来たときだけひょいと横に避けてやり過ごします。これまで一度も轢かれたことはありません。賢いというべきか、大胆不敵とも思える行動です。

こんなクラスは日本でもそんなにいるもんじゃないでしょう。